

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/4 >

(データ集約 : 5/25)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (B q / k g (生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
アイナメ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	110	160	270
アブラツノザメ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	13	15	28
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	ND	ND	ND
クロソイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	210	320	530
ケムシカジカ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	63	88	151
コモンカスベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	70	100	170
シログチ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	9.7	11	20.7
ヌマガレイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	340	470	810
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	ND	ND	ND
ヒラメ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	70	94	164

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約6.9Bq/kg(生)、Cs-137が約5.0Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km圏内海域 > < 2/4 >

(データ集約 : 5/25)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (B q / k g (生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
マコガレイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	29	39	68
アイナメ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	94	130	224
アブラツノザメ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	ND	8.0	8.0
イシガレイ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	170	220	390
シロメバル(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	360	540	900
ケムシカジカ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	120	190	310
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	86	110	196
シログチ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	13	25	38
スケトウダラ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	ND	ND	ND
ババガレイ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	100	160	260

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.1Bq/kg(生)、Cs-137が約4.3Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km圏内海域 > < 3/4 >

(データ集約 : 5/25)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (B q / k g (生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
ヒラツメガニ(全体)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年5月9日	ND	ND	ND
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年5月9日	490	700	1190
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年5月9日	75	100	175
ミズダコ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年5月9日	ND	5.1	5.1
アイナメ(筋肉)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	110	150	260
カナガシラ(筋肉)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	11	19	30
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	130	190	320
サメガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	ND	ND	ND
ジンドウイカ(全体)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	ND	ND	ND
ババガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10 km付近(T-B3)	平成24年5月10日	25	38	63

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約5.7Bq/kg(生)、Cs-137が約4.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 4/4 >

(データ集約 : 5/25)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (B q / k g (生)) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	66	100	166
ホウボウ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	6.9	13	19.9
マアナゴ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	27	39	66
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	28	51	79
マダラ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	19	31	50
ミズダコ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	ND	ND	ND
ムシガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	7.1	17	24.1
ヤリイカ(全体)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年5月10日	ND	ND	ND

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.5Bq/kg(生)、Cs-137が約4.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類サンプル写真（平成24年5月9・10日採取）

< 参考資料 >
平成24年5月25日
東京電力株式会社

～太田川沖合3km付近（T-S1）・小高区沖合3km付近（T-S2）・1F敷地沖合10km付近で採取（T-B3）～

1. アイナメ



2. アブラツノザメ



3. ガザミ



4. クロソイ



5. ケムシカジカ



6. コモンカスベ



7. シログチ



8. ヌマガレイ



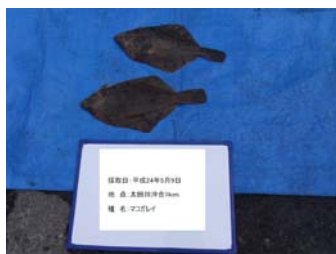
9. ヒラツメガニ



10. ヒラメ



11. マコガレイ



12. イシガレイ



13. シロメバル



14. スケトウダラ



15. ババガレイ



魚介類サンプル写真（平成24年5月9・10日採取）

～太田川沖合3km付近（T-S1）・小高区沖合3km付近（T-S2）・1F敷地沖合10km付近で採取（T-B3）～

16. ミズダコ



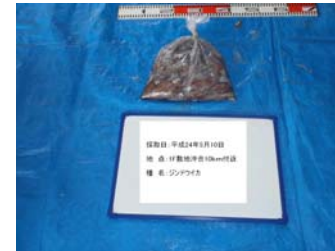
17. カナガシラ



18. サメガレイ



19. ジンドウイカ



20. ホウボウ



21. マアナゴ



22. マダラ



23. ムシガレイ



24. ヤリイカ

